

RSBcloud-ORCA

(Rad Safetysecurit Backup cloud)

日レセ(ORCA)ユーザ向けデータ外部保存サービス

レセコンベンダーでは国内初の外部保存サービスを開始



「高セキュリティデータセンター」
+「クラウド」を提供するソフトバンク
テレコム社の協力により実現

 **ラジエンスウェア株式会社**

埼玉県児玉郡上里町堤696-7

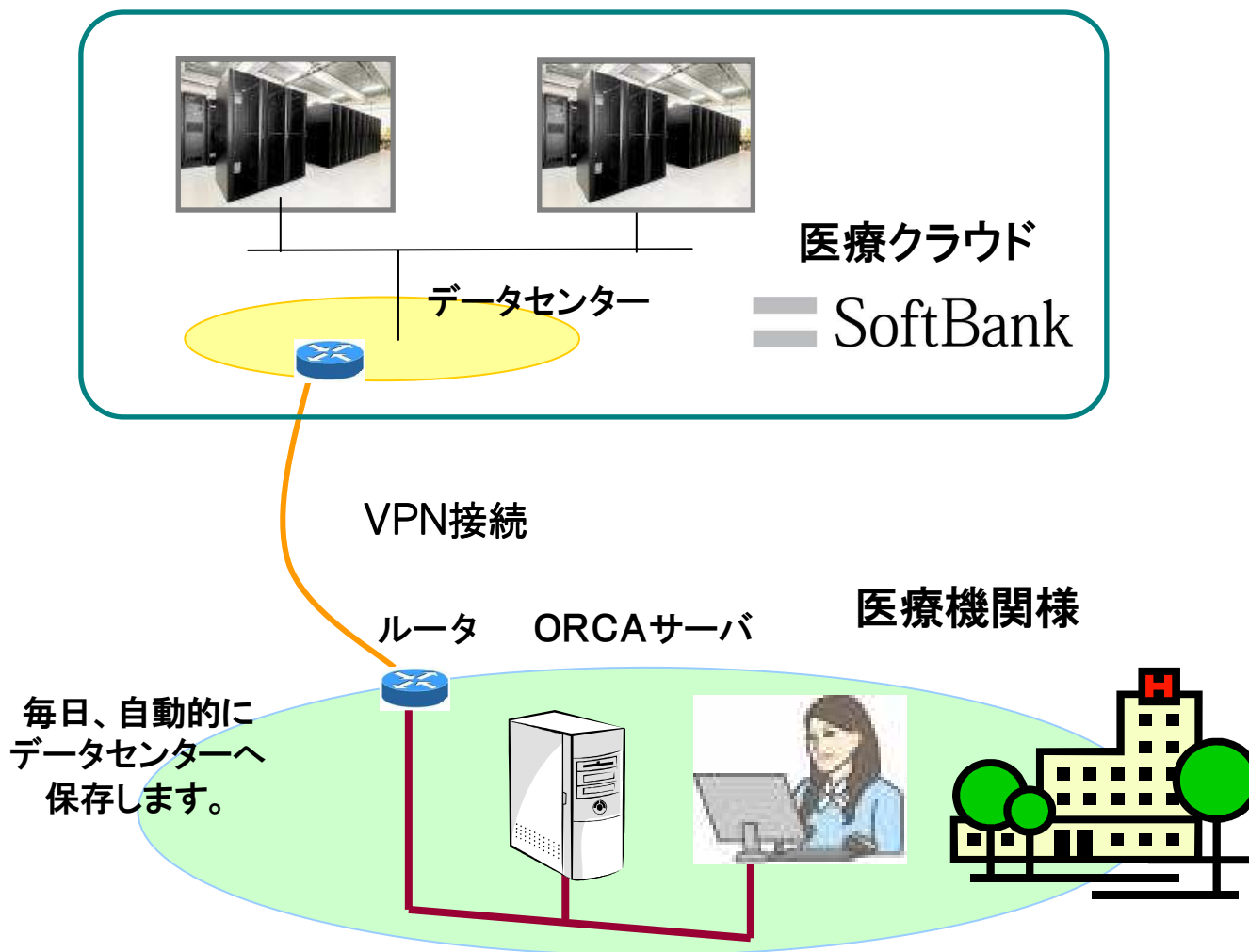
TEL 0495-35-0081

FAX 0495-35-0075

医療情報総合システム事業部



構成概要



24時間365日安心

不慮の事故や災害
から大切なデータ
を守りましょう！



高セキュリティ対策 4つのポイント

SoftBank

データセンター



ポイント1 データ安全性

転送されたデータは、完全に冗長化されたデータセンター内にて安全に保管されます。

ポイント2 災害対策

免震構造のデータセンターは地理的にも優れた立地にあり、地震や津波などの災害時でもデータを安全に保護します。

IPSec VPN網

ポイント3 データ転送

データ転送経路は、IPSec VPN※1を使用し、暗号化された通信経路上で、医療機関様のデータを転送します。

※1 IPSec VPNはガイドラインの条件を満たしております。



医療機関様

ポイント4 暗号化(漏洩防止)

医療機関様のORCAバックアップデータは、取得後に暗号化を実施します。第三者の参照を防止します。





サービス概要

1) サービスの目的

レセプトコンピュータには「患者属性」「病名」「処方暦」「禁忌アレルギー」「診療報酬」など、医療機関にとって、重要なデータが記録されています。従って、これらを失うことは通常の診療ができなくなったり、診療報酬の請求ができなくなる危険があります。このため、データを安全に保存することで、リスクや不安から解消されることを目的とします。

2) サービスが必要となった背景

- 医療システムの提供を始めた11年前から「医療データを安全に保存してほしい」と要望するユーザが多くありました。
- 3・11の震災や津波で、医療施設が破壊されると同時に、カルテやレセコンなど医療情報も消滅したため、緊急を要する透析患者を始め、慢性疾患を持つ患者さんにとっては死活問題となっています。
- 大きな震災でなくても「落雷」「火災」「放水」「盗難」によりハードディスクのデータは破壊されるため、常に危険を抱えた運用になっています。
- 2010年2月、厚生労働省より発表された「外部保存に関するガイドライン」に対応できる、「高セキュリティ」+「クラウド」の提供が可能になりました。

医療データの安全保存に適したクラウドの提供によりサービスが可能に



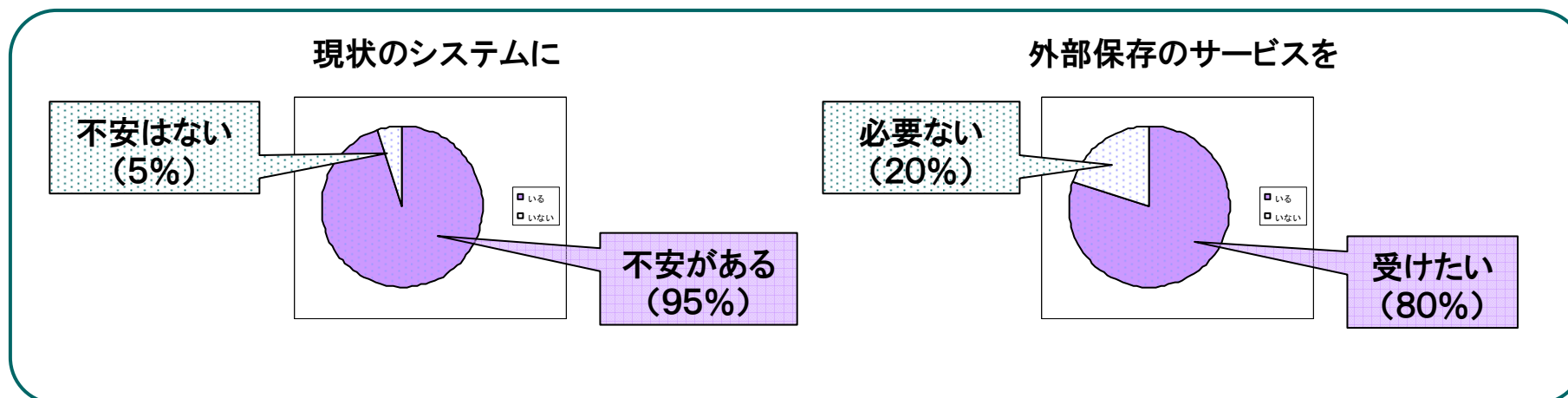
データ損失とユーザの声

1) データが失われる原因

- ① 落雷により、サージ電圧が電源に侵入した場合→(電子回路は500V以上のサージ電圧で破壊する)
- ② 出火により、カーボン系の煙がサーバ内に入った場合→(電子部品はカーボンが付着するとショートする)
- ③ 煙やガス発生時、スプリンクラーが作動した場合→(電子回路やHDDに水が入ると破壊する)
- ④ 地震により、複雑な振動がサーバにかかった場合→(HDDは作動中に共鳴振動になると破壊する)
- ⑤ 盗難によりサーバを持ち出されて場合→(データごとそっくり無くなる)

2) アンケート結果

弊社が現在サポートしているユーザ様にアンケートを取ったところ、下記のような結果がでました。



アンケート結果より、安全な外部保存サービスへの期待は大きいと言える



サービス内容

<契約書>

- ① 外部保存に関する契約書をユーザー様と弊社で取り交わします。
- ② データセンターはソフトバンクテレコム社より提供を受けますが、弊社が責任においてサービス運用を行う契約内容といたします。
- ③ サービス内容に、サーバ本体の復旧は含まれておりませんので、サポート・メンテナンス契約をしている企業にお願いします。ただし、迅速に復元させるための協力はいたします。

<初期作業>

1) ユーザー様内、セットアップ作業

- ① 日レセ(ORCA)サーバに自動バックアップ用ソフトをインストールします。
- ② VPN接続作業。ルータが無い場合は、専用のルータを取り付けます。

2) データセンター内、セットアップ作業

- ① ユーザー様用の保存エリアを確保いたします。
- ② VPN接続の確認作業をいたします。

3) 動作確認

- ① 試験データでの正常動作を確認いたします。
- ② 試験結果の報告書を提出いたします。

ORCAのメリット

立ち上げ作業はスタンダード化によりシンプルでスピーディーに



サービスの特徴

1) 安全性

- ① 本サービスは、ソフトバンクテレコム社より提供される「高セキュリティ」+「クラウド」のデータセンターを採用しており、厚生労働省のガイドラインに準拠した状態で、弊社が責任をもって提供いたします。
- ② 外部に保存されるデータは、ORCAサーバ内で暗号化することで、セキュリティを高めます。
- ③ 送信回線はVPN接続することで、外部からの進入を防いでいます。
- ④ データセンターは、複数のサーバ群により二重化されています。

2) 自動動作

- ① サーバのシャットダウンボタンを押すことで、全ての作業は自動的に実施されます。
- ② 保存作業が完了した場合は、ユーザさまの端末に「作業完了」が表示されます。
- ③ 毎日の保存状況は「バックアップ履歴」が表示されます。

3) 保存方式

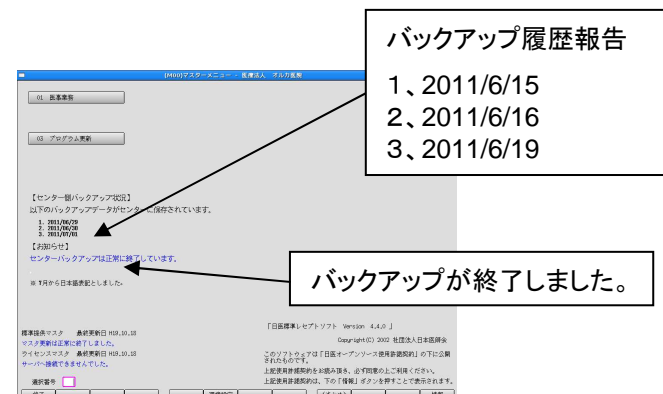
- ① データは本日分から過去にさかのぼり(3世代分)をデータセンターに保存します。
- ② クラウド方式により、サーバがトラブルを起こした場合は速やかに他のサーバが作動する仕組みになっています。

現時点での最高レベルの技術とサポート体制で、サービス提供



データバックアップの流れ

- ① ORCAサーバのシャットダウンボタンをON
- ↓
- ② ORCAサーバ内、バックアップデータ作成
- ↓
- ③ バックアップデータは(3世代)となります。
- ↓
- ④ バックアップデータを外部保存用に暗号化
- ↓
- ⑤ データセンターへ保存作業
- ↓
- ⑥ データセンターへ保存確認後、ORCAサーバの電源を自動的にシャットダウンさせて終了



通常の終了ボタンを押すだけで、自動的に保存されるので「安心」



データセンター:地震に対する施策

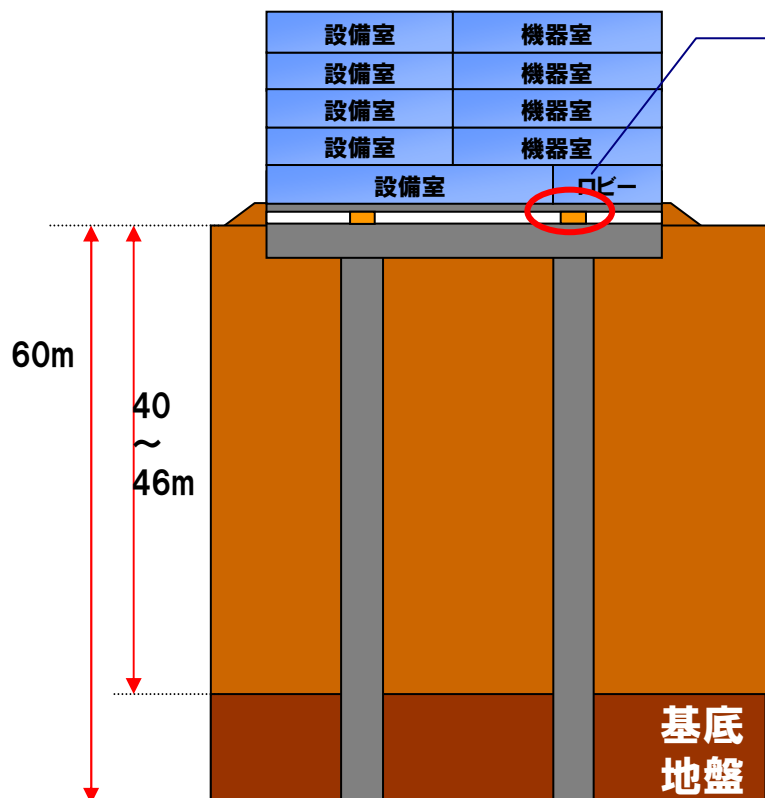
SoftBank

■ 地震対策

- ◇ 免震構造を採用することにより、震災時の揺れを大幅に低減
- ◇ 液状化対策として基底岩盤まで60mの基礎コンクリート杭を打設しているため、地盤沈下や液状化に対して堅牢

■ 免震構造(ハイブリットTASS構法採用^{※2})

- ◇ 2011/3/11の東日本大震災でクロスゲート新砂は近隣の最大加速度137.4Gal^{※3}の揺れの強さが1/2の67.0Galに低減した
- ◇ 同工法を採用した建物は2004/10/23の新潟中越地震で揺れの強さを1/4に低減した実績有り
- ◇ 過去の代表的な地震波^{※4}を利用した地震(510.8Gal)のシミュレーションでは機器室となる2F~5Fの揺れの強さは約1/3(150Gal前後)に低減

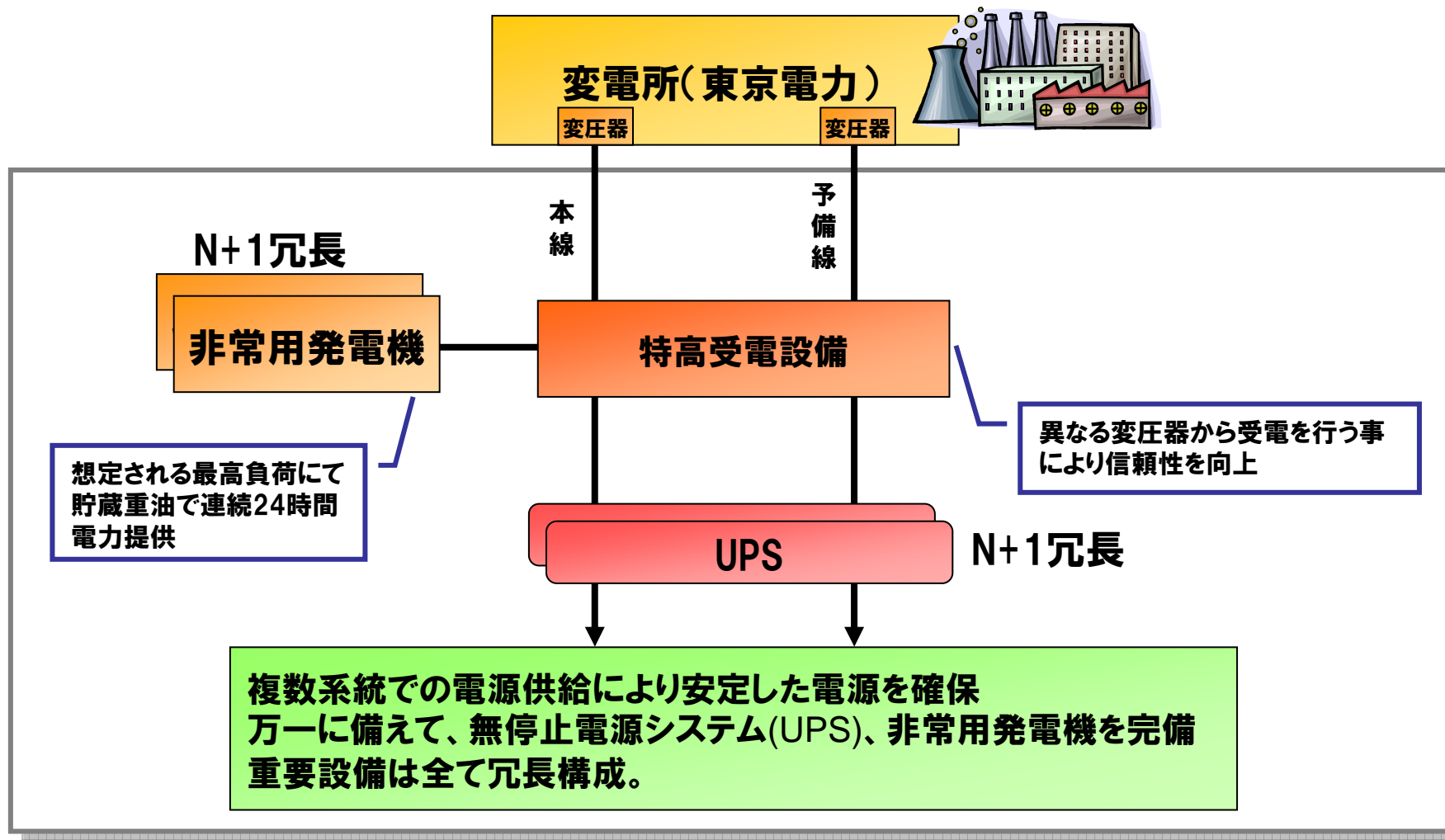




データセンター:電源設備

SoftBank

災害等のリスクも想定した設計により、緊急時も安定した電源環境を提供





データセンター:セキュリティ対策

SoftBank

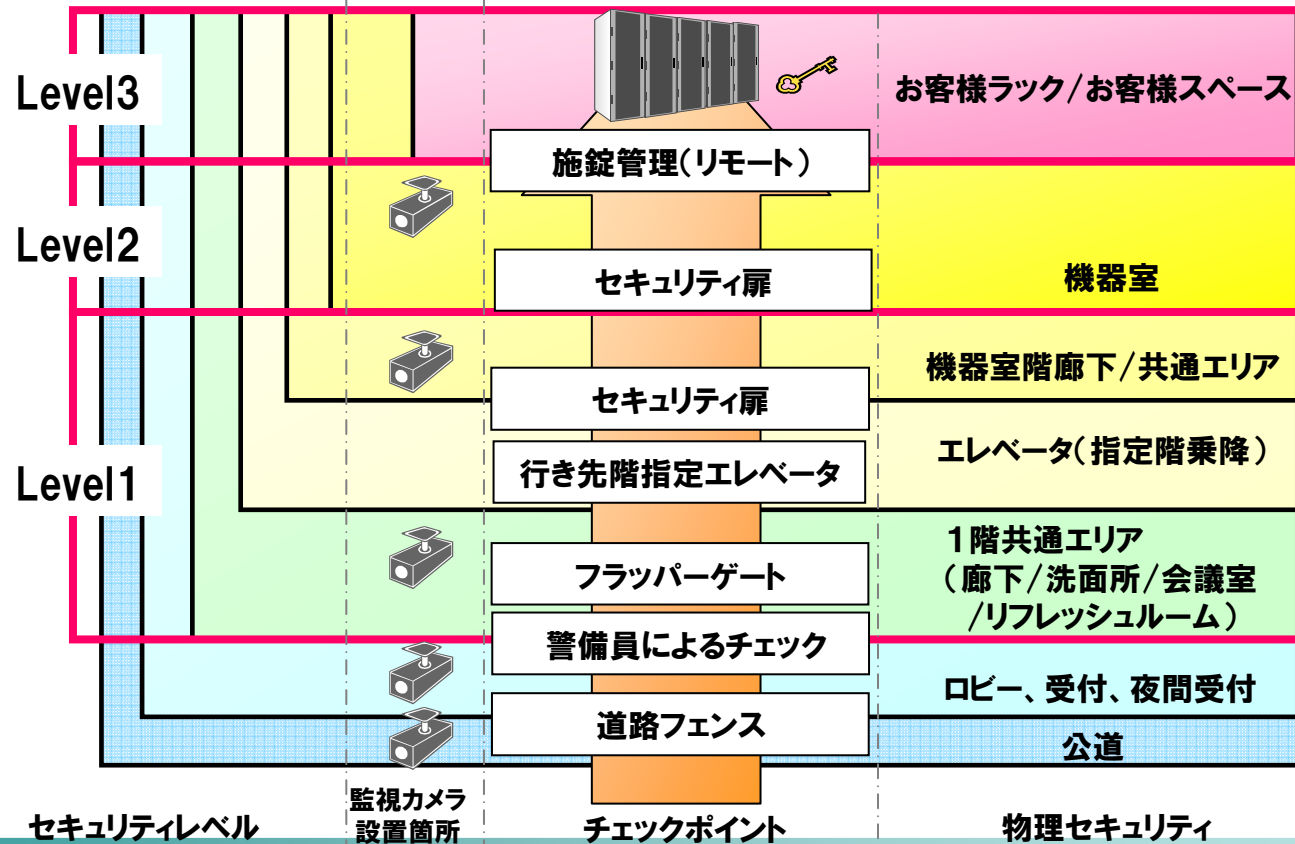
- ソフトバンクテレコムで培ってきたセキュリティポリシーに基づいた厳格なファシリティ、入退室、運用、人的管理などを実施。
ISO国際規格認証 (ISO27001(ISMS)、ISO20000(ITSMS)、ISO9001(QMS))を取得
- 東京第四データセンターでは7段階の物理セキュリティと3段階のセキュリティレベルを設定することにより、物理面と運用面において強固なセキュリティを実現



行き先階指定エレベータ



フラPPERゲート





新聞記事

日経メディカル オンラインNEWS 2011. 7. 13

ソフトバンクテレコム of 外部サーバーを利用

ラジエンスウェア、レセプトデータの外部保存サービスを開始

記者 [吉村馨太＝日経メディカル オンライン](#)

記事

ラジエンスウェア(埼玉県上里町)はソフトバンクテレコム(東京都港区)と共同で、日本医師会の標準レセプトソフト「ORCA」を導入している医療機関向けに、レセプトデータの外部保存サービスを7月1日から開始した。

サービスの内容は、病院や診療所のORCAサーバー内にあるレセプトデータを専用ソフトにより暗号化し、ルーターからVPN接続でソフトバンクテレコムのサーバー上へ送信するというもの。データ送信は毎日自動で定期的に行われ、サーバー上には過去3日分のデータが保存される。

「東日本大震災のような大災害が発生すると、医療施設が破壊されると同時に、運用していたORCAサーバーだけでなくバックアップもすべて使用不能の状態に陥りかねない。また大災害以外でも、落雷や火災、浸水、盗難などによりデータを失うことは往々にしてある。そういった状況を未然に防ぐため、医療機関の外部にデータを保存するサービスを展開したいと考えた」とラジエンスウェアの中嶋吉男社長は話す。

導入に際しては、ORCAサーバーに専用ソフトをインストールし、ルーターがなければ新たに設置するだけ。初期費用はルーターによるVPN環境がすでにある場合、クリニックでは7万円、病院では15万円。ない場合は、ルーター代金4万円がそれぞれに加算される。

月額 of サービス料金(電話対応、リモート対応、トラブル対応、定期検査などを含む)は、クリニックが6500円。病院は20床～49床で2万円、50床～99床で3万円、100床～199床で5万円となっている。

※記事内の料金額は全て税抜き。